

第九たいむず

No36 2013.1.31 通刊 1029 号 担当 UM25K

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673 (事務局長中村)

早くも1ヶ月が過ぎ去ります。でも今年は まだ11ヶ月あるから...と思っははいけない。今年の記念演奏会は11月です。その上、海外公演記念誌出版・イタリア語でも歌うメイコンサート・40周年記念行事があり、とっても忙しいのです。体調を崩して欠席などしている余裕は有りませんぞ!! 練習の進展も早いので、欠席した方は周囲の人に前回練習の要点を確認し、頑張って追いつきましょう。

◆「会津磐梯山」に追加歌詞があります

スペイン・プレコンサート楽譜の先頭に追加する歌詞を用意してありますので、受領してください。

◆イタリア語に慣れ親しんで

「景気よく さあ 酒を」「乾杯の歌」「ひどく もう夜が 更けたような」について、木村先生が用意して下さった歌詞の意味が A-4 2枚に記されていますので受け取ってください。イタリア語を覚えられる上に、意味を理解しつつ歌えば楽しさも膨らみます。

「覚え方 One of them」椿姫の楽譜で「乾杯の歌」の中の P.35 2 小節目の ba-ci-a-vra. は「ばっちいあぶら(ばっちい油)」と覚えるのよって(^) ソプラノにいらっしやる合唱団JOYの団員さんに教えていただきました♪

◆メイコンサートの楽譜を購入してください

○海外公演の軌跡～40周年によせて～ 1部 500円 (全員お買い求めください)

④別紙でお配りした48頁を元々の48頁の上に貼付けて頂けましたか?

○スペイン公演 プレコンサート 1部 300円 (昨年使用した楽譜ですのでお持ちでない方のみ)

◆スペイン公演記念誌出版記念パーティのご案内<<申込受付中>>

受付に参加申込用紙があります。必要事項記入の上、会費を添えてお申し込み下さい。

日時: 2月16日(土) 16:00～18:00 会場: 高崎市役所21階「アートマルシェ」

会費: 5000円 (旅行参加、非参加に関わらず) 《記念誌は、旅行ご参加の方には、全員1冊無償でお渡しします。これ以外(追加、非参加者)は、1部1000円でお買い上げ下さい。》

◆第39回演奏会の記録 ～引換できます～

CD・DVDを注文された方は、受付にて代金と引換えで受け取ってください。なお、合唱団の記録用として作成したもので、市販は禁じられています。団員以外がご覧になる場合は十分ご注意ください。※録音と録画は群響の許諾済。演奏は日本音楽著作権協会の許諾済。販売は許諾なし。

☆演奏会の写真申込は、今日が最終日です。受付にて申込用紙に記入し、1200円を添えてお申し込みください。井田写真館さんよりサンプルをお預かりしていますのでご覧ください。

◆第40回記念演奏会は、11月21日(木)

団からの強い要望と、真剣に交渉して下さった群響事務局のおかげで指揮: 現田茂夫、ソリストは、ソプラノ: 佐藤しのぶ、メゾ・ソプラノ: 坂本朱、テノール: 錦織健、バリトン: 福島明也に決定しました。今年の演奏会は11月21日(木) 平日です。当日、休暇を取得しなければならない方は年間スケジュールの計画を立ててしまってくださいね。いつも来ていただくお客さまにも早めに宣伝しておいてください♪

◆中島絹子さん、社会教育功労賞おめでとうございます!!

2月10日(日) 高崎市市民活動センター ソシアス市民ホール(高崎市足門町)にて高崎市生涯学習フェスティバルが行われます。

当団の運営委員として、何年も団の為に尽くして下さっているアルトの中島絹子さんが、社会教育功労賞を受賞されます。表彰式は13時からです。もちろん入場無料です。

中島さんの応援に、晴れ姿をみんなで見に行きましょう! べ(≧▽≦)ノ～～♪

◆ 今後の予定

- 2月16日(土) 海外公演記念誌出版パーティ アートマルシェ(申込者のみ、市役所21階)
2月24日(日) すみだ5000人の第九(申込者のみ、両国国技館)
3月28日(木) **練習会場変更** この日のみ中央公民館の視聴覚室・音楽舞蹈室です。
4月21日(日) **メイコン特別練習 午前10時～午後4時まで(シンフォニーホール 中ホール)**
5月19日(日) メイコンサート(全員、群馬音楽センター)
5月23日(木) 総会+ミニコンサート(全員、いつもの教会)
6月 6日(木) 第40回発声式(全員、第九の練習開始)
8月 サマーレッスン
10月19・20日(土・日) 軽井沢合宿レッスン
10月27日(日) 40周年記念パーティ
11月21日(木) 第40回記念演奏会 群馬音楽センター

◆ イベント情報

☆大山亜紀子&澤田まゆみ デュオリサイタル オペラとピアノの素敵な関係

2月23日(土)14:30開場 15:00開演 高崎市文化会館 全席指定2,000円
メイコンサートで椿姫を歌ってくださる大山亜紀子さんのリサイタルです。

☆佐久レーレルコール 第35回演奏会

2月24日(日)14:00開演 佐久勤労福祉者センター
J・Sバッハ作曲「ロ短調ミサ」全曲 ソプラノ羽毛田佳子さんが出演されます。
招待券ご希望の方は事務局 外処まで

◆ 39回演奏会アンケート結果より「演奏への意見③」

39回演奏会アンケート結果より「演奏への意見」の第3弾です。お客様の貴重なご意見、感謝ですね。

- ♪初めて。そりすべりのインパクトが大きかった。群響さんと合唱のバランス、特にソプラノが良くマッチしていた。しょうがないですが男声団員さんがもっと増えると嬉しいですね。(30代 女性)
- ♪合唱始めの立ち上がりバラバラ。合わせた方が良いと思う。昨年よりも良い(全体的に)(40代 男性)
- ♪初めて。クリスマス曲ですから、やはり美しさやさしさが感じられる方が良いと思います。ハレルヤコーラスも同様、強弱、テンポ、ハーモニーの美しさをもっと大切にしてほしいです。第九ソプラノ音がとがった感じがしました。(全体)もっと本物を聴くことです。(60代 女性)

◇来週は立春 節分と鬼門と鬼のパンツの由来



節分の由来

2月3日は「節分(せつぶん)」ですね。節分とは本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を指し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に、1年に4回あったものでした。ところが、日本では立春は1年のはじまりとして、とくに尊ばれたため、次第に節分といえば春の節分のみを指すようになっていったようです。

立春を1年のはじまりである新年と考えれば、節分は大晦日(おおみそか)にあたります。平安時代の宮中では、大晦日に陰陽師らによって旧年の厄や災難を祓い清める「追難(ついな)」の行事が行われていました。室町時代以降は豆をまいて悪鬼を追い出す行事へと発展し、民間にも定着していきました。

京都ではこの時期、表鬼門にあたる「吉田神社」と裏鬼門にあたる「壬生寺(みぶでら)」の節分祭がことに有名で、厄除節分会の期間中は大勢の人でごったがえします。



鬼門と鬼のパンツの由来

鬼のパンツはいいパンツ〜♪ 強いぞ〜♪

小さい頃、こんな歌を歌いませんでしたか? さて、この鬼のパンツ、トラのパンツなのに、私はずっとヒョウ柄だと思い込んでいました(^_^)。

鬼がトラのパンツをはくわけは、「鬼門」に由来するそうです。「鬼門」は鬼の出入りする方角で「北東」とされ、この方角は十二支にあてはめると「丑」「寅」の方角(うしとら)にあたります。そのため、古来鬼は「牛(丑)」の角(つの)をもった姿で、「虎(寅)」のパンツを身に付けているとされているそうですよ。



(和菓子ミュージアム「執筆者:木下千栄」より)